

市民ギャラリー栄次世代アーティスト企画展

水上卓哉の世界

The World of Takuya Mizukami
Inochi-Itcha ~What is the meaning of life./To save life and nature forever~

脈うつ線。

うねる絵の具。

ざわめく命の極彩色。

2022
9.6
火
9.18
日

名古屋市民文化振興事業団 [市民ギャラリー栄]

時間 | 10:00~17:00 ※最終日は16:00閉場(入場は15:30迄) ※月曜休館 | 会場 | 名古屋市民ギャラリー栄 8階全室 | 入場無料 |

協賛 **NETT** **トヨタ中部** **BLUEBERRY FACTORY GIFU** **養蚕相馬建設** 後援 愛知県教育委員会 愛知芸術文化協会 **30** NET 30th ANNIVERSARY

ギャラリーイベント **Sapgreenライブ**
2022年9月10日(土)14:00~同8階
演奏: Sapgreen

市民ギャラリー栄は、なぜ水上卓哉を選んだか。

わたし達が次世代に伝えたい、未来への希望。

水上さんとの出会いは、名古屋市文化振興事業団が運営するワークショップフェスタ「ボッシュる」でこの夏のアートイベントで、水上さんは子ども達に海の生き物の水彩画を教えていた。のびのび描く喜びを伝える彼は印象的で、その後彼の作品を気にするようになった。ダイナミックながらも繊細。命を伝える画家、水上卓哉。

そんな中、コロナ感染が拡がり、当ギャラリーにも波紋は及んだ。芸術の場は制約を受け、展覧会や活動の中止が相次ぎ、人々の心の弾みが消えていった。しかしだからこそ、希望の息を吹き返したい。展覧会の構想を練っていた時に水上さんの絵をふと思いついた。そう、未来への希望を描く彼を筆頭に、市民の皆様が次世代作家の芸術に触れて頂く。命の輝きに満ち溢れた彼の絵はその皮切りに最適解だと。呼吸再開。次世代アーティスト企画展、スタートします。希望に満ちた息吹が、どうか皆様にも届きますように。

市民ギャラリー栄館長 宮田 健

「命とは」何か。強くやさしく語りかける7つのテーマ。

《1》この小さな世界



《2》またここで会おう



《3》The thread of life



《4》地球の手紙



《5》希望の地球(ほし)



《6》Drawing



《7》Roots



1990年名古屋市生まれ。京都造形芸術大学(現京都芸術大学)大学院芸術研究科(通信教育)芸術環境専攻修士課程修了。《現代美術家協会会員》《愛知芸術文化協会(ANET)会員》自作の紅茶インクや油彩、水彩などで命の輝きを描く。2010年の初個展以来、これまでに個展12回。
【受賞】2016年度京都造形芸術大学大学院通信教育修了制作展研究室優秀賞、シェル美術賞2016・2018入選、第229回ル・サロン2019入選、FACE2019 損保ジャパン日本興亜美術賞入選 ほか



Takuya Mizukami Profile

水上卓哉 プロフィール

【交通アクセス】

- ・地下鉄東山線・名城線「栄」下車 12番出口東へ徒歩1分
- ・市バス「栄」下車 徒歩5分
- ※公共交通機関をご利用ください。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い】

- ・入場時の検温、手指のアルコール消毒にご協力ください。
- ・マスクを着用するなど、咳エチケットをお守りください。
- ・感染拡大状況によって急遽中止になる場合があります。

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [市民ギャラリー栄]

名古屋市中央区栄四丁目1番8号 中区役所平和不動産共同ビル7・8階
TEL:052-265-0461 FAX:052-265-0449 e-mail:sakae@bunka758.or.jp

